

「私とコイノニア」

神様を伝えていくうえで、大切なことのひとつとして、交わりがあると思います。交わりとは、聖書的な交わりだけではなく、ただ単純に遊ぶとか、人との会話、一緒にいること、なども含まれます。私はイエス様を信じてクリスチャンになってからでもこの交わりというものの苦手さがとても課題になっていたりしました。ひとりっ子だったので、ひとりで遊ぶのが当たり前、友達と遊ぶのは特別な時くらい、といった考えがなんとなくあり、人と一緒にいるときはどこか臆病になっていたり、駅で知っている友達を見かけても見てみぬふりをしちゃったり、音楽を聴いて気づかないふりをしたり、していたくらい人と接するのがへたくそでした。教会でも礼拝が終わったらなるべくすぐ帰りたし、バイトもなるべく人間関係をつくらなくて済むような派遣の仕事とか、そんなことばかりやっています。

聖書には交わりを大切にしろと書いてあるのに、自分はどうしてこう弱いのかと自己嫌悪になることもしばしば。

しかしあるとき神様は教えてくださいました。私が交わり苦手なのは、人との対立を恐れていて、神を畏れていないのだということ。

私たちは何かから逃げようとするとき、必ず人の目を気にし、必ず自分の立場を先に考え、都合のいい方、楽な方を選択しようとしています。しかしそれは神様を無視し、本来もっともっと良いことを期待できる神様の力を頼らず、自分の少ない力だけで闘おうとするもったいない生き方なのです。私はいままで、人との対立を恐れ、いつも人の言うことに従っていました。しかしそれは神様を無視する行為でした。このまま人に流され続けていたら、いまは友達という、安心できる存在の中だからこそ良いものの、社会にできればたくさんの悪い人間がいて、その人たちに騙されることになる。かわらなければいけないと、思うようになりました。

だから神様が ACF に私を遣わしたのは、人に対して毅然とした自分であることを学ばせるため、そして神様の存在をいつも意識させるためなのだと思います。

私は4年間この部活で苦手だった交わりというものと向き合い、またたくさんの意見交換をする機会に恵まれました。そしてそれらの楽しさ、意味深さを理解しました。神様は誰よりも私を理解し本当に必要なものだけを与えてくれる、お父さんであり、お母さんです。